地球温暖化対策結果報告書

- 1 地球温暖化対策事業者等の概要
- (1) 地球温暖化対策事業者等の氏名等

地球温暖化対策事業者等の氏名 (法人にあっては名称及び代表者又は管理者の氏名) キヤノンマーケティングジャパン株式会社 (代表取締役社長 川崎 正己 地球温暖化対策事業者等の住所 (法人にあっては主たる事務所の所在 東京都港区港南二丁目16-6 地)

(2) 事業所の概要

事業所の	名称		キヤノンマ	マーケテ	ィングジャパン本	社ビル	
事業所の	所在地		東京都港區	☑港南二	丁目16-6		
	J. //C . /	分類番号	J49	J:卸売・	小売業 ▼	各種商品卸売業	•
	業種	産業分類名	各種商品	卸売業			
			※部門分	-	産業	● 業務	
業種等			○工場		○ 熱供給施設	○ 上水道・下水道施設	○ 廃棄物処理施
八里 1	事業所	主たる用途	● 事務所		○ 商業施設	○宿泊施設	〇 教育施設
	の種類		◯ 医療施設	ž .	〇 文化施設		
			○その他	()
	ļ	建物の使用形態	□ テナントビ	ル等に該当			
事業の概	要		ポートの提	提供		業機器等の販売、及び	サービス・サ
		皆等の概要 場合に記載)	(1) の 名 (2) テナント の 名	事業者等			
敷地面積			(3) の 名			4,067	m²
建物の延	べ面積					59,449	m²

(3) 担当部署

		名称	総務本部 総務部 品川総務課
計画の		電 話 番 号	03-6719-9051
担当部署	連絡先	ファクシミリ番号	03-6719-8117
		電子メールアトレス	s-soumu@canon-mj.co.jp
		名称	CSR推進本部 CSRマネジメント推進部 環境マネジメント推進グループ
公表の		電話番号	03-6719-9055
担当部署	連絡先	ファクシミリ番号	03-6719-8360
		電子メールアトレス	kankyou@canon-mj.co.jp

公表期間		告書の生						
ム収別旧]			平成2	2年7月1	□ ~	平原	以22年12月31日
		ホームペーシ			アドレス:	http:	//canon.jp/	
		窓口で閲覧	包		閲覧場所:			
					所在地:			
公表方法	\$				閲覧可能時	間:		
		冊子			冊子名:			
					入手方法:			
		その他						
2 計画期間								
	17 年	度 ~		21	年度			
					,			
3 温室効果ガ	スの総排出量	量の状況						
(1)計画期間の	最終年度の	温室効果	具ガスの総	排出量			単位:t(二	酸化炭素換算)
CO_2	CH_4	N	V_2O	HFC	PF	С	SF_6	合計
3,861								3,861
(2)基準排出量	・乃て以計・前世	間の見め	女任 由土っ	の担会益用	サオフの終出れ	11畳の**	4 段	一本小,只去小林
2) 圣毕外山里	基準排出量		*平度より 1年度	第2年度			第4年度 第4年度	二酸化炭素換算) 第5年度
————————————————————————————————————	5,2		5,053		897	5,042	4,369	3,861
基準排出量 基準排出量		_						· ·
北増減率			4%	1	7%	4%	17%	27%
	スの排出の	量	(計画	面終了年度:	:祝及び排出: 21	抑制 (こ) 年度		區状況(総括)等
ア計画期間の				『終了年度:			隻)	型状况(総括)等 二酸化炭素換算)
ア 計画期間の CO ₂)温室効身		『終了年度:		年度	隻)	
	最終年度の)温室効身	果ガスの排	「終了年度: ‡出の量	21	年度	度) 単位:t(二酸化炭素換算)
CO2 3,861	最終年度 <i>0</i> CH ₄)温室効身 N N D 建物の延	果ガスの排 N ₂ O	T終了年度: HFC	21	年度 C	度) 単位:t(SF ₆	二酸化炭素換算) 合計
CO ₂ 3,861 イ計画期間の (業務部門)最終年度の CH ₄)最終年度の 別に該当する	②温室効果 ト ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	果ガスの抄 N ₂ O 近べ面積当 み記載)	T終了年度: 	21	年度 C	度) 単位:t(<u></u> SF ₆ 量の状況等	二酸化炭素換算) 合計
CO ₂ 3,861 イ計画期間の (業務部門 建物の延べ面積	の最終年度の CH ₄ の最終年度の 別に該当する 責当たりの温	②温室効男 の建物の延 る場合のみ 室効果ガ	果ガスの排出 N ₂ O 近べ面積当 な記載) ブスの排出	T終了年度: 	21	年度 C	度) 単位:t(<u>SF</u> ₆ 量の状況等 64.9	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/m²·年
CO ₂ 3,861 イ計画期間の (業務部門 生物の延べ面和 生物の延べ面和	の最終年度の	記室効身登場の及る場合のみ室効果ガネルギー	果ガスの掛 N ₂ O	T終了年度: 計出の量 HFC 当たりの温室 の量	21 PF6 効果ガスのお	年度 C 単出の量	度) 単位:t(SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/㎡・年 MJ/㎡・年
CO ₂ 3,861 イ計画期間の (業務部門 基物の延べ面積	の最終年度の CH4 の最終年度の 別に該当する 責当たりの温 責当たりのエ は及び計画其	②温室効身の延 の建物の延 る場合のみ 室効果ガ ネルギー	果ガスの樹 N ₂ O 近べ面積 (大記載) ガスの排出 消費量 冬年度まで	T終了年度: 	21 PF6 効果ガスの核	年度 C 非出の量	度) 単位:t(SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 惟移 単位:t(二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/㎡・年 MJ/㎡・年 二酸化炭素換算)
CO ₂ 3,861 イ計画期間の (業務部門 建物の延べ面和	の最終年度の	②温室効身の延 の建物の延 る場合のみ 室効果ガ ネルギー	果ガスの掛 N ₂ O	T終了年度: 計出の量 HFC 当たりの温室 の量	21 PF6 効果ガスの核	年度 C 非出の量	度) 単位:t(SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/㎡・年 MJ/㎡・年
CO ₂ 3,861 イ計画期間の(業務部門建物の延べ面を建物の延べ面を対して、また。 は、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して、対して	の最終年度の CH4 の最終年度の 別に該当する 責当たりの温 責当たりのエ は及び計画其	記室効身2建物の延5場合のみ室効果ガネルギー期間の最終第二	果ガスの樹 N ₂ O 近べ面積 (大記載) ガスの排出 消費量 冬年度まで	T終了年度: 	21 PF 効果ガスの排 とガスの排出。 第3年	年度 C 非出の量	度) 単位:t(SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 惟移 単位:t(二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/㎡・年 MJ/㎡・年 二酸化炭素換算)
CO ₂ 3,861 イ計画期間の(業務部門建物の延べ面を建物の延べ面を対しまででです。 は、またのででする。 は、またのでは、またの	の最終年度の CH ₄ の最終年度の 別に該当する 責当たりの温 責当たりのエ は及び計画其 基準排出量	記室効身2建物の延5場合のみ室効果ガネルギー期間の最終第二	果ガスの初 N ₂ O 近べ面積当 デスの排出 消費量 終年度まで 1年度	T終了年度: 非出の量 HFC 当たりの温室 の量 ごの温室効果 第2年度 4,8	21 PF 効果ガスの排 とガスの排出。 第3年	年度 C 非出の量の量の対	度) 単位:t(1 SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 惟移 単位:t(1 第4年度	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/㎡・年 MJ/㎡・年 二酸化炭素換算) 第5年度
CO ₂ 3,861 イ計画期間の(業務部門 生物の延べ面和 生物の延べ面和 ウ基準排出量 非出量 ま連排出量 上増減率	の最終年度の CH4 の最終年度の 別に該当する 責当たりのエ は及び計画其 基準排出量 5,2	2 温室効果 が 場合のみ 室効果ガ ネルギー 期間の最終 1 68	果ガスの樹 N ₂ O 近べ面積 分 だ記載) ガスの排出 消費量 終年度まで 1年度 5,053 4%	T終了年度: 非出の量 HFC 当たりの温室 の量 の量 第2年度 4,8	21 PF6 効果ガスの核 関が表が表がます。 関が表が表がます。 第3年 197	年度 C 非出の量 の量の才 E度 5,042 4%	単位:t(E SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 推移 単位:t(E 第4年度 4,369	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/㎡・年 MJ/㎡・年 二酸化炭素換算) 第5年度 3,861
CO ₂ 3,861 イ計画期間の(業務部門建物の延べ面和建物の延べ面和建物の延べ面和建物の延べ面和建物の延べ面和は推出量は上増減率 (2)温室効果が	の最終年度の CH4 の最終年度の 別に該当する 責当たりの温 責当たりのエ は及び計画其 基準排出量 5,2	記室効身記を効果があるなみ果がますおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおがまずおがまずおがまずおがまずおがまずおがまずおがまず	果ガスの初 N ₂ O 近べ面積 分に記載) ガスの排出 消費量 終年度まで 1年度 5,053 4%	T終了年度: 非出の量 HFC 当たりの温室 の量 の量 第2年度 4,8	21 PF6 効果ガスの核 関が表が表がます。 関が表が表がます。 第3年 197	年度 C Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip	単位:t(E SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 推移 単位:t(E 第4年度 4,369 17%	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/㎡・年 MJ/㎡・年 二酸化炭素換算) 第5年度 3,861
CO ₂ 3,861 イ計画期間の(業務部門建物の延べ面和建物の延べ面和建物の延べ面和建物の延べ面和対象を関係を表現した。 は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、	の最終年度の CH4 の最終年度の 別に該当する 責当たりの温 責当たりのエ は及び計画其 基準排出量 5,2 スの排出の 措置の実施	記室効身記を効果があるなみ果がますおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおがまずおがまずおがまずおがまずおがまずおがまずおがまず	果ガスの初 N ₂ O 近べ面積 分に記載) ガスの排出 消費量 終年度まで 1年度 5,053 4%	T終了年度: 非出の量 HFC 当たりの温室 の量 での温室効果 第2年度 4,8 7 実施状況及	21 PFC 効果ガスの排出。 以前の でで目標の達成 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	年度 C Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip	単位:t(三 SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 推移 単位:t(三 第4年度 4,369 17%	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/㎡・年 MJ/㎡・年 二酸化炭素換算) 第5年度 3,861 27%
CO ₂ 3,861 イ計画期間の(業務部門動物の延べ面和動物の延べ面和動物の延べ面和動物の延べ面和動物の延べ面和力を基準排出量は出土増減率 (2)温室効果が対策分類ごとの対策分類ごとの	の最終年度の CH4 の最終年度の 別に該当する 責当たりの温 責当たりのエ は及び計画其 基準排出量 5,2 スの排出の 措置の実施	記室効身記を効果があるなみ果がますおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずすおかまずずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおかまずおがまずおがまずおがまずおがまずおがまずおがまずおがまず	果ガスの樹 N ₂ O 近へ面積 対スの排出 消費 終年度まで 1年度 5,053 4% る措置の 対策 うち、運	T終了年度: 非出の量 HFC 当たりの温室 の量 での温室効果 第2年度 4,8 7 実施状況及	21 PF6 効果ガスの抗 関ガスの排出の 第3年 197 で目標の達成 のすべて完了	年度 C Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip	単位:t(三 SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 惟移 単位:t(三 第4年度 4,369 17%	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/㎡・年 MJ/㎡・年 二酸化炭素換算) 第5年度 3,861 27%
CO ₂ 3,861 イ計画期間の(業務部門動物の延べ面和動物の延べ面和動物の延べ面和動物の延べ面和動物の延べ面和力を基準排出量は出土増減率 (2)温室効果が対策分類ごとの対策分類ごとの	の最終年度の CH4 の最終年度の 別に該当する 責当たりの温 責当たりのエ は及び計画其 基準排出量 5,2 スの排出の 措置の実施	□ 温室効身 □ 2 □ 3 □ 3 □ 3 □ 3 □ 3 □ 3 □ 3 □ 3	果ガスの樹 N ₂ O 近へ面積 対スの排出 消費 終年度まで 1年度 5,053 4% る措置の 対策 うち、運	T終了年度: 非出の量 HFC 当たりの温室 の量 での温室効果 第2年度 4,8 7 実施状況及	21 PFC 効果ガスの排出 学がスの排出 第3年 で197 で11標の達成 で12年の達成 で12年の達成 で12年ので12年ので12年ので12年ので12年ので12年ので12年ので12年の	年度 C Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip	単位:t(三 SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 惟移 単位:t(三 第4年度 4,369 17%	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/m³・年 MJ/m³・年 二酸化炭素換算) 第5年度 3,861 27%
CO ₂ 3,861 イ計画期間の(業務部門建物の延べ面和建物の延べ面和建物の延べ面和建物の延べ面和建物の延べ面和力を基準排出量は出量と増減率(2)温室効果が対策分類ごとの状況(実施の有	最終年度の CH4 の最終年度の 別に該当する 責当たりのエ は及び計画其 基準排出量 5,2 スの排出の 措置の実施 無)	2 事 2 事 3 事 3 事 4 事 5 事 6 事 7 事 8 事 9 事 9 事 9 事 9 事 9 事 9 事 9 事 9 事 9 事 9 事 9 事 9 事 9<	果ガスの初 N ₂ O 近れ で記載が がスの 満年度 1年度 5,053 4% る措置の 対策 うち、運	T終了年度: 非出の量 HFC 当たりの温室 の量 での温室効果 第2年度 4,8 7 実施状況及	21 PFC 効果ガスの排出 学がスの排出 第3年 で197 で11標の達成 で12年の達成 で12年の達成 で12年ので12年ので12年ので12年ので12年ので12年ので12年ので12年の	年度 C Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip	単位:t(三 SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 惟移 単位:t(三 第4年度 4,369 17%	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/m³・年 MJ/m³・年 二酸化炭素換算) 第5年度 3,861 27%
CO ₂ 3,861 イ計画期間の (業務部門 建物の延べ面和	最終年度の CH4 の最終年度の 別に該当する 責当たりのエ は及び計画其 基準排出量 5,2 スの排出の 措置の実施 無)	温室 か 2 は 2 は 3 な 4 ま 5 よ 5 よ 6 お 6 お 6 お 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 6 よ 7 よ 6 よ 7 よ 8 よ 8 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 9 よ 10 よ	果ガスの樹 N ₂ O 近へ記載 消費 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大 大	Ti終了年度: 非出の量 HFC 当たりの温室 の量 での温室効果 第2年度 4,8 7 実施状況及	21 PFC 効果ガスの排出 学がスの排出 第3年 で197 で11標の達成 で12年の達成 で12年の達成 で12年ので12年ので12年ので12年ので12年ので12年ので12年ので12年の	年度 C Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip Ip	単位:t(三 SF ₆ 量の状況等 64.9 1,520 惟移 単位:t(三 第4年度 4,369 17%	二酸化炭素換算) 合計 3,861 kg/m²·年 MJ/m²·年 二酸化炭素換算) 第5年度 3,861 27% 未実施 計画なし 未実施 計画なし

_	百利士がにばて旧古共田が	2 00 HF III 00 JE VID TO 7 10 HF III HG #II	アはて井里の中井(山)口(外柱)
O.	日期単寺に派の侃争刎未刀。	ヘリノガド(11) リノオ人 7万.7又(アガド(11) ガリカリ	に係る措置の実施状況(総括)

(1) 温室効果ガスの排出の量

ア 計画期間の最終年度の温室効果ガスの排出の量

単位:t(二酸化炭素換算)

CO_2	CH ₄	$ m N_2O$	HFC	PFC	SF_6	合計

イ基準排出量及び計画期間の最終年度までの温室効果ガスの排出の量の推移

単位:t(二酸化炭素換算)

	基準排出量	第1年度	第2年度	第3年度	第4年度	第5年度
排出量						
基準排出量 比増減率						

(2) 温室効果ガス排出の抑制に係る措置の実施状況

排出の抑制に係る措置の実施状況	○ すべて完了	〇一部完了	○未実施	● 計画なし
-----------------	---------	-------	------	--------

- 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等に関する自己評価
- (1) 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況等の総括

前年度に作成した"空調運転マニュアル(年間を通して、月毎にどの様な操作運用するか?)をベースに改訂版を検討し空調運転の改善・見直しを実施した。具体的には、①空調運転スケジュールの見直し ② 各空調機の給気温度、及びVAVの設定温度見直し、これらに加えて、③常用エレベーター(12台)の平日夜間、休日4台のみ運転 ④蒸気配管系統バルブ、ストレーナー等の断熱ジャケット被覆 ⑤基準階AHU運転停止時刻30~60分短縮 ⑥基準階AHU運転の運転モードの内、自動モードを取止めて、夏期は冷房モード、冬期は暖房モード、中間期は監視盤で室温チエックし手動で運転/停止、及び⑦冬期の冷房運転の停止が挙げられる。

(2) 次期計画期間における取組方針

空調運転マニアルの更なる精査をしながら運用の検討、修正を行う。又、今後の課題として、全社員に省 エネ意識を向上させるためのモニター設備の設置、熱搬送設備の改善、冷水熱交換器(プレート型)の ジャケット装備、サブ変圧器の統合化等を検討計画したい。

(その4)

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表) (1) 基本対策及び目標対策

	対策の名称			計画時の削	達成	状況	
対策 No	(建物ごとに選定した場合は、建物の名称 も記載すること。)	対 策 レベル	追加 年度	前画時の前 減効果の見 込量(t)	推計実績削 減量(t)	推計実績削 減率 (%)	備考
1	省エネファンベルトの更新(空調機用)	基本対策 ▼		12	12	0.22%	
2	省エネファンベルトの更新(換気ファン用)	基本対策 ▼		2	2	0.03%	
3	駐車場換気設備のスケジュール運転	基本対策(運用)▼		25	19	0.35%	
4	節水シャワーヘッドの設備	基本対策 ▼		0	0		
5	基準階共用部のFCU運転停止	基本対策(運用)▼	20	21	21	0.39%	
6	基準階執務室の東西面ペリメータFCU運転をスケジュール起動から手元スイッチ起	基本対策(運用)▼	20	108	108	2.05%	
7	共用部の照明間引き点灯実施	基本対策(運用)▼	20	38	38	0.72%	
8	外灯照明スケジュール点灯見直し、及び 間引き点灯	基本対策(運用) ▼	20	1	1	0.01%	
	乗用エレヘーター(12台)の台数制御運転	基本対策(運用)▼	21	13	12	0.23%	
10	蒸気配管系統バルブ、ストレーナー等の断熱 ジャケット装着	基本対策 ▼	21	24	24	0.45%	
	中間期の基準階空調運転を1時間短縮	基本対策(運用)▼	21	13	12	0.23%	
		•					
		•					
		•					

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表) (1) 基本対策及び目標対策

	金子 八 永 久 〇 百 宗 八 永			北両時の割	達成	状況	
対策 No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対 策 レベル	追加 年度	計画時の削 減効果の見 込量(t)	推計実績削 減量(t)	推計実績削 減率 (%)	備考
		•					
		•					
		•					
		•					
		•					
		•					
		•					
		<u></u>					
		▼					
		▼					
		▼					
		▼					
		V					
		▼					
		•					

7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表) (1) 基本対策及び目標対策

	金子 八 永 久 〇 百 宗 八 永			北両時の割	達成	状況	
対策 No	対策の名称 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称も記載すること。)	対 策 レベル	追加 年度	計画時の削 減効果の見 込量(t)	推計実績削 減量(t)	推計実績削 減率 (%)	備考
		•					
		•					
		•					
		•					
		•					
		•					
		•					
		<u></u>					
		▼					
		▼					
		▼					
		▼					
		V					
		▼					
		•					

(その4) 7 工場・事業場の設備等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る目標の達成状況(個表) (1) 基本対策及び目標対策 達成状況 対策の名称 計画時の削 対策 対 策 追加 推計実績削 (建物ごとに選定した場合は、建物の名称 |減効果の見 |推計実績削 備考 レベル 年度 減率 も記載すること。) 込量(t) 減量(t) (%) lacksquare

			B		
合計	249	4.7%	計画削減量(t)及び計画削減率(%)	257	4.8%
合計(うち目標対策分)			目標削減量(t)及び目標削減率(%)		

(2) 再生可能エネルギーの導入に係る措置

ア 再生可能エネルギーの導入に係る考え方

技術的問題や経済性を勘案し、当ビルにおいても使用可能な再生可能エネルギーの導入を実施できるのか、検討を行なっていきたい。

イ 再生可能エネルギーの導入計画及び前年度末における導入実績 (事業所内で設備導入を行うものに限る。)

再生可能エネルギーの種類(発電)	単位	実績導入量	計画導入量	概 要(導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			
再生可能エネルギーの種類(熱利用)	単位	実績導入量	計画導入量	概 要(導入時期、規模、方法等)
再生可能エネルギーの種類(熱利用)	単位 GJ	実績導入量	計画導入量	概 要(導入時期、規模、方法等)
再生可能エネルギーの種類(熱利用)		実績導入量	計画導入量	概 要(導入時期、規模、方法等)
再生可能エネルギーの種類(熱利用)	GJ	実績導入量	計画導入量	概 要(導入時期、規模、方法等)

- 8 事業所内で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係るその他の措置
- (1) 事業所における再生可能エネルギーの環境価値の保有

種類	単位	実績導入量	計画導入量	概 要(導入時期、規模、方法等)
	kWh			
	kWh			
	kWh			
計	kWh			

(2) その他の取組

事項	取組概要						
テナント事業者等への還元のため の措置							
廃棄物の削減	両面印刷や2ページ印刷を標準仕様としたプリンタードライバーを配布し、用紙の削減を行なった。生ごみの飼料化を行ない生ごみのリサイクルを推進した。	削減予定量	t	実績	t		
グリーン調達	当社の調達基本方針の中に下記2点を記載しております。 1)生産委託品の調達は「キヤノングリーン調達基準書」に適合した取引先・物品を選択し、調達する。 2)自家消費物品の調達は「キヤノングリーン調達基準書」に適合した取引先・物品を優先的に選択し調達する。						
物流の効率化							
その他、社員の通勤における削減対策等	自家用車による通勤は原則禁止してい 力避けるよう指導しており、外出・出 ようにしている。						

(その6)								
9 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の進ちょく状況及び目標の達成状況等(個表) (1) 自動車等に係る温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況及び目標の達成状況								
	対策の名称	計画				戈 状況		
対策 No		対策導	入率等	削減効果 の見込量	2 ます 赤	対策完了に	備考	
		現状	目標	- の見込量 (t)	等	よる削減効 果の量(t)		
				(0)				
(9)	自動車等に係るその他の事項	i						
(2)	日期半寺に述るて灯心の寺々							

10	10 事業所外で実施する温室効果ガスの排出の抑制に係る措置の実施状況								
	事項 (達成状況)								
都内で実施する措置	他の事業所で 実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2			
	地域住民、消費者、民間団体等と協働して実施する削減対策								
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m²			
	その他								
都外で実施する措置	他の事業所で実施する削減対策		削減量	見込	実績	t-CO2			
	地域住民、消費者、 民間団体等と協働し て実施する削減対策								
	植林、緑化等		導入量	予定	実績	m²			
	その他								
上記 消費 の排 取組	以外で、他の事業者、 者等の温室効果ガス 出の抑制に寄与する 等								